

令和6年度「私立短期大学教務関係調査」〈調査票〉

回答期限
11月1日(金)

都道府県名		短期大学名	
-------	--	-------	--

記入者情報

学内部署・役職名		氏名	
電話		Email	@

【回答、入力上の注意事項】

<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ設問の回答欄 <input type="text"/> に、選択肢の番号を1つだけ半角整数で（例 ①→1として）入力してください（「複数回答 可」の設問を除く）。 ・「複数回答 可」の場合、半角「, 」で区切り、該当選択肢の半角整数を入力してください。 ・設問の左側に「※」印が付記されている設問は、該当短期大学のみお答えください。 ・特に指定のない場合は令和6年5月1日現在でお答えください。 ・%表示の場合には四捨五入してお答えください。 ・注釈がない場合は、専攻科、別科を含めてください（通信教育は除く）。 ・学科により異なるなどで、1つの選択肢を特定できない場合は、平均値あるいは多くの学科が該当する項目を選択してください。 ・選択肢「その他（自由記述）入力シート」にも、具体的内容を差し支えない範囲で入力してください。 ・本調査の回答票は、調査目的以外に使用することはありません。 また、短期大学名及び個別の資料等は公表いたしません。

I. 短期大学の概要等に関する事項

設問記号

A 設置されている学科の分野別の数を、それぞれの回答欄に半角数字で記入してください（7学科以上の場合は、7を入力ください）。専攻科、別科は除きます。
設置学科の分野別は学校基本調査によってください。

a. 人文関係		f. 保健関係	
b. 社会関係		g. 家政関係	
c. 教養関係		h. 教育関係	
d. 工業関係		i. 芸術関係	
e. 農業関係		j. その他	

Bの1 修業年限について(長期履修学生を除く)

①2年	②3年	③2年及び3年	
-----	-----	---------	--

※ Bの2 就業年限2年制と3年制の比率について

<上記Bの1で③を選択された場合のみ、下記回答欄の該当箇所にご回答ください>

①ほぼ同数	②3年制がほぼ半数	
③3年制がほぼ1/4	④それ以外の比率	

C 全学科の1年次の入学定員について(専攻科、別科、募集停止分を除く)

①100人以下	②101～200人	③201～400人	
④401～600人	⑤601人以上		

D 全学生数について(専攻科、別科を除く)

①200人以下	②201～400人	③401～800人	
④801～1,200人	⑤1,201人以上		

E 直近3年間(令和3年度~5年度)を平均した全学の定員充足率について(専攻科、別科を除く)

①100%以上	
②90%以上~100%未満	
③80%以上~90%未満	
④70%以上~80%未満	
⑤60%以上~70%未満	
⑥60%未満	

F 外国人留学生の人数

①0人	②1~10人	③11~20人	
④21~30人	⑤31~50人	⑥51~100人	
⑦101人以上			

Gの1 社会人学生入学制度の有無について

①制度 有	②検討中	③制度 無	
-------	------	-------	--

Gの2 社会人入学生数の人数

①0人	②1~10人	③11~20人	
④21~30人	⑤31~40人	⑥41~50人	
⑦51人以上			

Hの1 長期高度人材育成制度による入学生の有無について

①制度 有	②検討中	③制度 無	
-------	------	-------	--

※ Hの2 長期高度人材育成制度での入学者数

①0人	②1~10人	③11~20人	
④21~30人	⑤31人以上		

I 併設大学(4年制大学)の設置について

①短大より開設年度が早い併設大学を設置	
②短大より開設年度が遅い併設大学を設置	
③併設大学を設置していない	

Jの1 令和5年度までに実施した募集定員の変更、学科の一部削減や再編などについて(複数回答 可)

①募集定員の削減	
②学科の削減ないし再編	
③短期大学の募集停止	
④一部の学科または全学科を4年制に移行	
⑤その他(自由記述) ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
⑥特になし	

Jの2 近年中(現在を含め令和8年ころまで)に実施する計画がある(複数回答 可)

①募集定員の削減	
②学科の削減ないし再編	
③短期大学の募集停止	
④一部の学科または全学科を4年制に移行	
⑤その他(自由記述) ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
⑥特になし	

II. 学籍とその異動に関する事項

設問記号

Aの1 休学として扱う最低期間について

①1ヶ月以上	②2ヶ月以上	③3ヶ月以上	
④6ヶ月以上	⑤その他		

Aの2 通算して休学できる最長期間について

①修業年限の半分以上	
②修業年限と同年数	
③修業年限が3年の場合、通算して2年以内	
④その他	

Aの3 令和5年度における、全学生数に対する休学者の割合について

①0%	②0.1%~0.5%	③0.6~1.0%	
④1.1~5.0%	⑤5.1%以上		

※ Aの4 令和5年度の休学者の人数について

①1~5人	②6~10人	③11~20人	
④21~30人	⑤31~40人	⑥41~50人	
⑦51~100人	⑧101人以上		

※ Aの5 令和5年度の主な休学の理由について(主な理由を三つまで選択)

①健康上(心身)の理由	②経済的事情	
③進路問題	④海外留学	
⑤家庭の事情	⑥学業不振(就学意欲の低下)	
⑦出産、育児に専念するため		
⑧その他		
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください		

Aの6 休学者から授業料、在籍料等を徴収していますか

①授業料(相当額)を徴収	
②授業料の半額を徴収	
③授業料の1/3又は1/5など授業料の一部を徴収	
④授業料、教育充実費及び施設管理費などを徴収	
⑤在籍料として1年又は半年単位で徴収	
⑥在籍料として月単位で徴収	
⑦運営費、管理料等のみを徴収	
⑧教育充実費、施設管理費等のみを徴収	
⑨その他	
⑩徴収していない	

Bの1 令和5年度における、全学生数に対する退学者の割合について

①0%	②0.1~1.0%	③1.1~2.0%	
④2.1~3.0%	⑤3.1~4.0%	⑥4.1~5.0%	
⑦5.1%以上			

※ Bの2 令和5年度の退学者の人数について

①1~5人	②6~10人	③11~20人	
④21~30人	⑤31~40人	⑥41~50人	
⑦51~100人	⑧101人以上		

※ Bの3 令和5年度の主な退学の理由について(主な理由を三つまで選択)

①健康上(心身)の理由	②経済的事情	
③進路問題	④海外留学	
⑤家庭の事情	⑥学業不振(就学意欲の低下)	
⑦出産、育児に専念するため		
⑧その他		
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください		

Cの1 令和5年度における、全学生数に対する除籍者の割合について

①0%	②0.1~1.0%	③1.1~2.0%	
④2.1~3.0%	⑤3.1~4.0%	⑥4.1~5.0%	
⑦5.1%以上			

※ Cの2 令和5年度の除籍者の人数について

①1~5人	②6~10人	③11~20人	
④21~30人	⑤31人以上		

※ Cの3 令和5年度の主な除籍の理由について(主な理由を三つまで選択)

①在学年限の超過	
②休学期間を超えてなお修学できない	
③学費未納	
④長期間に渡り行方不明	
⑤死亡	
⑥その他	
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	

D 復籍制度の有無について

①制度 有	②制度 無	
-------	-------	--

E 再入学制度の有無について

①制度 有	②制度 無	
-------	-------	--

Ⅲ. 教育課程と履修登録に関する事項

設問記号

Aの1 履修登録単位数の上限について

①学則で定めている	②学則以外の規程等で定めている	
③検討中	④上限を設けていない	

※ Aの2 履修登録単位数の上限を設けている場合の上限単位数について(複数回答 可)

①15単位以下	②16~20単位	③21~30単位	
④31~35単位	⑤36~40単位	⑥41~45単位	
⑦46~50単位	⑧51単位以上	⑨その他	

B 履修登録の時期について(複数回答 可)

①授業開始の前週	②授業開始1週間目	
③授業開始2週間目	④その他	

Cの1 入学式前に新入生に対するガイダンスを実施していますか

①実施している	②実施していない	
---------	----------	--

※ Cの2 入学式前の新入生に対するガイダンスでは、具体的にどのようなことを実施していますか
(複数回答 可)

＜上記Cの1で①を選択された場合のみ、下記回答欄の該当箇所にご回答ください＞

①オリエンテーション(各種ガイダンス、履修指導等を含む) ②プレイスメントテスト ③学生・教員との交流 ④入学前教育 ⑤その他 ⇒④⑤の場合、併せて、差し支えない範囲で「その他 (自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
--	--

D 入学後、導入教育として、特に実施しているプログラムについて(複数回答 可)

①レポート・論文の書き方、文献検索の仕方などを身に付けるもの ②高等学校の教科について補完するもの ③専門科目を学ぶ前提として必要な知識等を身に付けるもの (一般的な教養教育とは異なるもの) ④その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力 シート」に具体的に記述してください ⑤実施していない	
---	--

E 海外での研修等を含む授業や講座について(例 海外研修事前指導)
(複数回答 可)

①教養的科目の必修として開設 ②教養的科目の選択として開設 ③専門的科目の必修として開設 ④専門的科目の選択として開設 ⑤授業科目以外の講座・講習として実施 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力 シート」に具体的に記述してください ⑥開設していない	
---	--

F 留学期間を修業年限に含み、単位を認定する海外留学制度(認定海外留学制度)の実施とその期間について(複数回答 可)

①3ヶ月以上~6ヶ月で実施 ②1ヶ月以上~3ヶ月未満で実施 ③1ヶ月未満で実施 ④その他 ⑤実施していない	
---	--

G 学外におけるボランティア活動の単位認定について(教免の介護等体験は除く)

①単位を認定する ②単位認定はしていない ③検討中 ④課外活動として認める	
--	--

H インターンシップについて(複数回答 可)

①制度があり、単位認定をしている ②制度はあるが、単位認定はしない ③インターンシップを取り入れた授業科目を開設 ④制度として確立していないが、実施はしている ⑤実施していない	
--	--

I 資格取得の支援等(検定試験対策を含む)のための授業や講座について
(教育課程に組み込まれた保育士養成課程、教職課程、司書課程等を除く)
(複数回答 可)

①正課の授業科目として開設している ②授業科目以外の講座・講習として実施している ③開設していない ⇒①②の場合、併せて、差し支えない範囲で「その他 (自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
--	--

J キャリア教育科目(職業意識の形成支援を目的とする授業科目)の開設について

①正課の授業科目を開設している	
②正課の授業科目ではないが、講座として実施している	
③その他	
④開設(実施)していない	

※ K キャリア教育科目(職業意識の形成支援を目的とする授業科目)の実施について
 <上記Jで①～③を選択された場合(キャリア教育科目を開設(実施)している場合)のみ、
 下記回答欄の該当箇所にご回答ください>

①全学科で共通の科目として実施	
②全学科で個別の科目として実施	
③一部の学科で実施 ④その他	

IV. 授業と試験に関する事項

設問記号

※ A 後期の授業開始日(二学期制)について

①9月上旬	②9月中旬	③9月下旬	
④10月1日	⑤10月2日以降		

B セメスター制(学期完結型)の実施状況について

①全学科でセメスター制(学期完結型)を実施している	
②一部の学科でセメスター制(学期完結型)を実施している	
③セメスター制(学期完結型)を実施しているが、学年完結型の科目が混在している	
④全学科で学年完結型を実施している	

C 授業期間の弾力化への対応について(複数回答 可)

①従来通り週1回の授業を15週で実施	
②週1回あたりの授業時間を延ばし14週で実施	
③ターム制の導入(4学期制など)	
④同一科目について週複数回の授業を実施	
⑤授業形態を組み合わせる実施 (講義とフィールドワーク、サービス・ラーニングの導入など)	
⑥その他	

D 単位の計算方法について(1単位あたりの授業時間)
(例外規定科目は除く)

①講義15、演習30、実験・実習・実技45時間	
②講義・演習15、実験・実習・実技30時間	
③講義・演習30、実験・実習・実技45時間	
④講義15、演習・実験・実習・実技30時間	
⑤講義・演習15～30時間、実験・実習・実技30～45時間	
⑥その他	

E 受講者が極端に少ない場合の措置について(複数回答 可)

①1人以上なら原則開講	
②人数により閉講を検討	
③基準の人数以下なら原則閉講	
④科目により異なる	
⑤履修学生に他科目の履修を奨励	
⑥その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	

F 受講希望者が極端に多い場合の措置について(複数回答 可)

①クラス(コマ)を増設する ②抽選を行う ③優先条件順(例えば2年生優先など)により決定する ④試験により履修者を決定する ⑤他科目への履修変更者を募る ⑥調整しない ⑦その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
--	--

Gの1 補講の実施について

①必ず実施 ②原則実施 ③基準により実施 ④担当教員に一任 ⑤実施しない ⑥その他	
---	--

※ Gの2 補講の実施時期について(複数選択 可)

①補講期間 ②土曜日 ③通常の授業終了後(5限または6限等) ④通常の授業時間帯の空き時間 ⑤オンライン(オンデマンド等)で実施 ⑥その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
---	--

Hの1 公認欠席制度の有無について

①制度 有 ②制度 無	
------------------	--

※ Hの2 公認欠席の内容について(複数回答 可)

①忌引 ②教育実習 ③教育実習以外の実習 ④競技会等参加 ⑤就職試験 ⑥就職活動 ⑦感染症 ⑧学校行事 ⑨天災 ⑩交通機関の不通 ⑪その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
--	--

※ Hの3 公認欠席の扱いについて

①出席扱いとする ②欠席に数えない ③授業回数に数えない ④担当教員に一任 ⑤すべての公欠に対して補講を実施 ⑥試験の受験資格に係る回数を超えた分のみ補講を実施 ⑦通常の欠席とは異なる配慮がある ⑧その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
--	--

Iの1 出席回数と試験の受験資格について(複数回答 可)

①5分の4以上出席で受験可 ②4分の3以上出席で受験可 ③3分の2以上出席で受験可 ④5分の3以上出席で受験可 ⑤2分の1以上出席で受験可 ⑥授業形態により異なる ⑦担当教員に一任 ⑧制限 無 ⑨その他	
---	--

Iの2 学納金と試験の受験資格について

①未納の場合 受験不可 ②未納の場合でも「延納(分納)願」を提出すれば 受験可 ③未納の場合でも 受験可 ④その他	
--	--

Jの1	追試験制度について	①制度があり必ず追試験を実施 ②制度はあるが、実施の有無は担当教員に一任 ③制度がない	
※ Jの2	追試験の採点について	①減点する ②理由により減点する ③通常の採点と同じ ④合格した場合でも合格最低点とする	
Kの1	再試験制度について	①制度があり必ず再試験を実施 ②制度はあるが、実施の有無は担当教員に一任 ③制度がない	
※ Kの2	再試験の実施内容について	①特定科目 ②科目数を制限 ③全科目対象	
※ Kの3	再試験の採点について	①減点する ②通常の採点と同じ ③合格した場合でも合格最低点とする	
L	試験における不正行為の教務上の処置について(複数回答 可)	①当該学期の全科目無効(零点) ②当該定期試験期間内の全科目無効(零点) ③当該科目とそれ以降の科目無効(零点) ④当該科目のみ無効(零点) ⑤その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
Mの1	授業回数確保の方策について(複数回答 可)	①授業回数の不足している曜日の授業を他の曜日に実施 ②祝日に平常(時間割)通りの授業を実施 ③補講日に授業回数の不足している曜日の授業を実施 ④学期の開始、終了時期あるいは休業期間等を調整し、授業回数を確保 ⑤方策を講じていない ⑥その他	
※ Mの2	祝日に授業をした場合の学生の休日の代替措置について(複数回答 可) <上記Mの1で②を選択された場合のみ、下記回答欄の該当箇所にご回答ください>	①振替休日を設定する ②長期休業期間で調整する ③特に代替措置は講じない ④その他	
N	オフィスアワーの設定について	①所定の時間帯に設定 ②教員の空き時間を利用して設定 ③昼休み時間を利用して設定 ④教員に設定時間を一任 ⑤特に設定していない	
※ Oの1	時間割を年度分発表する場合の、編成開始時期について <科目を配当し時間割を組むという意味です>	①7月 ②8月 ③9月 ④10月 ⑤11月 ⑥12月 ⑦1月 ⑧2月 ⑨3月	

※ Oの2 時間割を学期毎に発表する場合の、編成開始時期について(複数回答 可)

<科目を配当し時間割を組むという意味です>

①7月	②8月	③9月	④10月	⑤11月	⑥12月	
⑦1月	⑧2月	⑨3月				

※ Pの1 アクティブ・ラーニングの取組状況について(複数回答 可)

①授業担当者により個別に実施している	
②学内で組織的に取り組んでいる	
③外部機関(他大学、企業等)と連携して取り組んでいる	
④地域と連携して取り組んでいる	
⑤その他	

※ Pの2 アクティブ・ラーニングの実施方法について(複数回答 可)

①PBL(問題解決型授業)	②グループ討議・ディベート	
③ロールプレイング	④フィールド学習・体験学習	
⑤クリッカーの活用		
⑥その他		
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください		

※ Q 授業で使用しているICTツールについて(複数回答 可)

①学習管理システム(LMS)(Moodle、Blackboardなど)	
②ビデオ会議ツール(Zoom、Microsoft Teamsなど)	
③プレゼンテーションソフト(PowerPoint、Preziなど)	
④デジタル教材	
⑤オンラインテスト	
⑥その他	
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	

※ R 特別な支援を要する学生に対する授業上の配慮について(複数回答 可)

①施設のバリアフリー化	
②教室等授業実施場所の変更	
③文字拡大や点字、音声教材の提供	
④動画配信・オンライン授業の提供	
⑤ノートテイクや手話通訳による補助支援	
⑥試験における、時間延長や別室受験の実施	
⑦その他	
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	

Sの1 遠隔授業(オンライン授業)の実施状況について

①総授業回数(15回等)の半数を超えて遠隔で行う授業を開講している	
②総授業回数(15回等)の半数を超えない範囲で遠隔で行う授業を開講している	
③①と②の両方を開講している	
④補講のみ遠隔授業を行っている	
⑤遠隔授業は行っていない	

※ Sの2 遠隔授業の開講数

<上記Sの1で①③を選択された場合のみ、下記回答欄の該当箇所にご回答ください>

①1単位から8単位	②9単位から16単位	
③17単位から24単位	④25単位以上	

V. 成績評価と単位認定に関する事項

設問記号

Aの1 成績評価の表記について

①点数表記(漢字・アルファベット表記を併記) ②漢字表記 ③アルファベット表記 ④その他	
---	--

Aの2 成績評価の方法について

①5段階評価(漢字表記) ②5段階評価(アルファベット表記) ③4段階評価(漢字表記) ④4段階評価(アルファベット表記) ⑤6段階評価 ⑥8段階評価 ⑦100点満点の素点評価 ⑧その他	
--	--

Aの3 成績評価基準を組織的に設け、履修前に明示していますか(複数回答 可)
(「Aの2」の方法で評価をおこなうための、〇〇点～〇〇点の基準以外、共通の基準がありますか)

①シラバスにより評価の基準と方法を示している ②ルーブリックにより示している ③①、②以外の方法で示している ④検討中 ⑤示していない	
---	--

B GPAの活用方法について(複数回答 可)

①履修制限 ④退学勧告 ⑦就職の推薦 ⑩GPA制度を実施していない ⑪その他	②卒業制限 ⑤学習の指導 ⑧奨学金	③進級制限 ⑥進学(編入学)の推薦 ⑨表彰	
--	-------------------------	-----------------------------	--

Cの1 成績通知の配付方法について(複数回答 可)

①手渡し ③学生が直接Webで確認	②郵送 ④②、③の併用	
----------------------	----------------	--

Cの2 成績通知の配付対象者について

①本人にのみ通知 ③保証人等にのみ通知	②本人と保証人等に通知	
------------------------	-------------	--

※ Cの3 保証人等に通知する場合の配付方法について(複数回答 可)

①手渡し ③保証人等にもアカウントを発行し、直接Webで確認 ④②、③の併用	②郵送	
--	-----	--

Cの4 成績通知の記載科目について

①開設全科目を記載 ②単位修得科目のみ記載 ③全受講科目を記載(不合格を含む) ④その他	
---	--

Cの5 成績証明書等の発行媒体について(複数回答 可)

①紙媒体 ③①、②の併用	②電子媒体(PDFファイル等)	
-----------------	-----------------	--

D 各種証明書のコンビニ発行サービスについて

①導入済	②導入していない	
③導入を検討中		

E デジタル証明書(オープンバッジ等)について

①導入済	②導入していない	
③導入を検討中		

F 入学前の既修得単位認定の上限について

①規定 有(2年制16~30単位、3年制24~46単位)	
②規定 有(2年制15単位以下、3年制23単位以下)	
③規定 無(認定可)	
④認定しない	

Gの1 単位互換制度について

①制度 有	②制度 無	
-------	-------	--

※ Gの2 単位互換制度の実施状況について(令和5年度実績) (複数回答 可)

①大学(国立・公立・私立・放送大学含む)	
②短期大学(国立・公立・私立)	
③高等専門学校	
④専修学校の専門課程	
⑤外国の大学	
⑥併設の大学	
⑦その他	

Hの1 大学以外での教育施設等での学修による単位認定について

①制度 有	②制度 無	
-------	-------	--

※ Hの2 大学以外での教育施設等での学修による単位認定の状況について(令和5年度実績) (複数回答 可)

①高等専門学校の専攻科における学修	
②高等専門学校の課程における学修	
③専修学校の専門課程における学修	
④文部科学大臣の認定を受けた技能審査の合格にかかる学修	
⑤その他文部科学大臣が定める学修	
⑥制度はあるが認定の実績はない	

VI. 卒業に関する事項

設問記号

A 卒業要件の単位数について(複数回答 可)
 <3年制の場合は()内の単位数を基準にして選択してください。ただし、
 第二部(夜間)および第三部は、()内の単位数を適用しないでください>

①62単位(3年制93単位)	
②64単位まで(3年制96単位まで)	
③66単位まで(3年制99単位まで)	
④68単位まで(3年制102単位まで)	
⑤70単位まで(3年制105単位まで)	
⑥71単位以上(3年制106単位まで)	

Bの1 学年途中(9月末等)での卒業認定について

①制度 有	②制度 無	
-------	-------	--

Bの2 学年途中の卒業の学則規定について

①学則に規定 有	②学則に規定 無	
----------	----------	--

Cの1 令和5年度卒業年次在学者(留年者を含む)で卒業できなかった者の割合
(卒業判定時に卒業見込み者に含まれている者)

①0%	②0.5%以下	③0.6~1.0%	
④1.1~2.0%	⑤2.1~3.0%	⑥3.1~4.0%	
⑦4.1~5.0%	⑧5.1~7.0%	⑨7.1~10.0%	
⑩10.1%以上			

Cの2 令和4年度入学者のうち、令和5年度に所定の修業年限で卒業できた者の割合(卒業判定時)
<3年制の場合は令和3年度入学者について回答してください>

①100%	②99~98%	③97~96%	
④95~94%	⑤93~92%	⑥91~90%	
⑦90%未満			

D 卒業できなかった者への次年度の学費の減免措置について(複数回答可)

①減免の制度はなく、一年分徴収	
②学期分(9月末等で卒業の場合)徴収	
③学納金のうち、授業料を減免する	
④学納金のうち授業料以外(教育充実費・実習費など)を減免する	
⑤学納金全体を減免する	
⑥その他	

Ⅶ. 教員、職員、その他に関する事項

設問記号

Aの1 専任教員の授業担当持ちコマ数について、基準を設けていますか。

①基準有	②基準無	
------	------	--

※ Aの2 専任教員の担当持ちコマ数に基準を設けている場合の基準コマ数について(年間)
<コマ数は1授業時限「単位認定上の2時間(通常 90分相当授業1回)」を1コマとし、
その1週当たりの回数でお答えください>
<学科で異なる場合は最大数を記入してください>

①4コマ未満	②4コマ	③5コマ	
④6コマ	⑤7コマ	⑥8コマ	
⑦9コマ以上	⑧その他		

B 勤務規程(就業規則等)に定められている専任教員(教授)の週当たり出講日数について

①週6日	②週5日	③週4日	
④週3日	⑤週2日	⑥学科で異なる	
⑦定めていない			

C 専任教員の任期制について

①導入している(一部導入の場合も含む)	
②導入に向けて検討中	
③導入を検討していない	

D 教務事務管理の責任者(教務部長または教務部長職を設けていない場合には教務課長等)
の身分について

①教員	②事務職員	
③その他		
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください		

Eの1 教務事務担当部署の形態について

①短期大学の教務事務を単独で担当	
②併設大学の教務事務も合わせて担当	
③その他	

Eの2 教務系事務職員の人数について
 <併設大学と業務を合同で行っている場合は、実際の全人数をご記入ください>
 ①4名以下 ②5名～10名 ③11名以上

Eの3 教務系事務職員の構成について(複数回答 可)
 <教務事務担当部署を構成し、常時業務を行う方をご記入ください>
 ①専任職員 ②臨時職員 ③嘱託職員
 ④人材派遣 ⑤その他

Fの1 自己点検・評価の規定について
 ①学則に規定 有 ②学則以外に規定 有
 ③学則で規定し、学則以外でも規定している
 ④規定 無

Fの2 自己点検・評価の実施について
 ①毎年実施している ②隔年実施している
 ③定期的ではないが実施している

Fの3 自己点検・評価の報告書の公表について
 ①公表している ②公表を検討中
 ③公表していない

Fの4 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施内容について(複数回答 可)
 ①学生による授業評価 ②教員自身による授業評価
 ③教員相互の授業参観 ④授業方法等についての研究会
 ⑤新任教員研修 ⑥公開授業
 ⑦関係団体の実施する研修会に参加
 ⑧学内で研修会を実施
 ⑨その他
 ⇒⑨は併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に実施内容を具体的に記述してください

※ Fの5 学生による授業評価アンケートの配付・回収について
 ①授業担当教員が行う
 ②事務職員が行う
 ③配付は授業担当教員、回収は学生が行う
 ④配付は授業担当教員、回収は事務職員が行う
 ⑤Webシステムを利用して行う
 ⑥その他
 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください

※ Fの6 学生による授業評価アンケート結果の公表について(複数回答 可)
 ①評価結果をホームページにより学外に公表
 ②評価結果を報告書としてまとめ学外に公表
 ③評価結果を教員及び学生に開示
 ④評価結果を教員本人にのみ開示
 ⑤評価結果を学長と教員本人に開示
 ⑥評価結果は図書館等において閲覧可能
 ⑦公表していない
 ⑧その他
 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください

Fの7 認証評価機関による評価の実施時期について(予定を含む)
 ①令和2年度 ②令和3年度 ③令和4年度
 ④令和5年度 ⑤令和6年度 ⑥令和7年度
 ⑦令和8年度以降

Fの8 他の短期大学との相互評価について

①実施している ②検討中 ③実施していない	
-----------------------------	--

G スタッフ・ディベロップメント(SD)の実施内容について(複数回答 可)

①関係団体の実施する研修会等に参加 ②学内で研修会等を実施 ③複数の大学が協力して研修会等を実施 ④大学・大学院に学生として派遣 ⑤その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
--	--

H 履修証明書を交付する学習プログラム(履修証明プログラム)の開設について(複数回答 可)

①専用の講習を開設(授業科目でない科目) ②公開講座を講習として開設 ③授業科目でない科目と授業科目を組み合わせで開設 ④授業科目のみで開設 ⑤開設していない	
---	--

I 高大連携の実施状況について(複数回答 可)

①科目等履修生制度を活用して、高校生が短期大学の授業を受講している(入学後の単位認定有) ②科目等履修生制度を活用して、高校生が短期大学の授業を受講している(入学後の単位認定無) ③公開講座などを活用して、高校生に短期大学の持つ幅広い教育を提供している ④短期大学の教員が高等学校において学校紹介や模擬授業などを実施している ⑤短期大学の教員と高校の教員との研究会を開催している ⑥その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で、受講の条件(対象学年等)を「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください ⑦実施していない	
--	--

Jの1 学修支援のための教務関係組織および施設について(複数回答 可)

①修学支援課等、学修支援を担当する事務組織を置いている ②学修支援室等を設置し、人員を配置して学修支援を行っている ③ラーニング・コモンズを整備し、人員を配置して学修支援を行っている ④その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください ⑤実施していない	
--	--

※ Jの2 ラーニング・コモンズの体制について

<上記Jの1で③を選択した場合のみ、下記回答欄の該当箇所にご回答ください>

①教員のみを配置している ②職員のみを配置している ③学生(TA、SAを含む)のみを配置している ④教員と職員を配置している ⑤教員と学生(TA、SAを含む)を配置している ⑥職員と学生(TA、SAを含む)を配置している ⑦教員、職員及び学生(TA、SAを含む)を配置している ⑧その他 ⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください	
---	--

Kの1 教務事務業務における時間割編成作業について

- | | |
|---|--|
| ①教員が編成作業をする
②職員が編成作業をする
③教員・職員が合同(または分担)で編成作業をする
④教務部署で管理する時間割編成システムで編成する
⑤その他
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください | |
|---|--|

Kの2 教務事務業務におけるカリキュラム編成(改訂等)作業について

- | | |
|---|--|
| ①教員が編成作業をする
②職員が編成作業をする
③教員・職員が合同(または分担)で編成作業をする
④その他
⇒併せて、差し支えない範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください | |
|---|--|

L 私立短大教務関係調査(本調査)の活用について

＜この調査を実際に有効に活用された例や、この調査へのご意見がありましたら、可能な範囲で「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください＞

M 次回以降、私立短大教務関係調査で必要と思われる事項について

＜次回以降の本調査で、調査が必要だと思われる事項がありましたら、「その他(自由記述)入力シート」に具体的に記述してください＞

以上で、設問は終了です。(お疲れさまでした)

回答入力を終えられた本Excel調査票は保存のうえ、お手数ですが、

1. ファイル名を **kyomu2024貴学名.xlsx** と変更し、
2. E-mailにて、件名に「**貴学名 教務関係調査回答**」とご入力の上、
11月1日(金)迄に、 E-mail : kyomu@tandai.or.jp へ添付送信ください。

学務ご多忙のところ、ご回答にご協力いただきありがとうございました。

日本私立短期大学協会 教務委員会

本件に関するお問い合わせ・照会先

日本私立短期大学協会 事務局 事業課: 瀬沼、江澤 TEL:03-3261-9055 E-mail : kyomu@tandai.or.jp
--